

旧日立航空機株式会社変電所保存の基本方針  
(概略版)

平成30年7月  
東大和市教育委員会

## 旧日立航空機株式会社変電所保存の基本方針（概略版）

平成29年度に行いました旧日立航空機株式会社変電所現地調査委託により提出された報告書を受けて、下記のとおり基本方針として定める。

(1) 耐震補強方針・・・一般的な建物の耐震基準には適合できないので、既存不適格建物の特例として認められている「構造上危険性が増大しない構造補強設計」として工事を行う。

(2) 今後の予定、概算費用

平成30年度 基本設計 3,888千円（予算金額）

平成31年度 実施設計 6,912千円（概算金額）

平成32年度 保存工事 118,580千円（概算金額） 構造躯体補強工事

内容：直接仮設工事、屋上スラブ撤去、打設工事、炭素繊維シート貼り工事、その他補強工事

平成33年度 保存工事 117,480千円（概算金額） 経年劣化に対する修復工事

内容：直接仮設工事、屋上防水改修工事、外壁修復工事、内壁修復工事、外階段・2階ベランダ修復工事、金物修復工事、スチール建具修復工事、外構工事、電気設備工事

平成34年度 内部展示工事 15,840千円（概算金額）

<総事業費合計> 263,694千円（平成29年度現地調査委託料の実績994千円を含む）

### ◎主な工事内容

屋 上・・・既存防水を撤去し、劣化部分をはつり取り、修復をおこなった後、今までシートでおこなっていた防水を、金属板葺きに変更する。

外 壁・・・基本的に前回工事の工法（アンカーピンで固定、エポキシ樹脂の接着）と同じ方法とする。

内 装・・・内壁・内装の変更の基準について。

- ・2階のみ、構造躯体補強工事で新しいモルタル塗りになった上から、ペイント（模写）して古く見せる。稼動時（平成5年）の様子を模写するが、詳細な再現までは求めない。なお、可能であれば内壁を一部、現状保存する。
- ・上記補強以外にも補強設備（新たな柱や壁）が必要となる場合は、内装の変更は可能とする。

- 外階段・・・2階公開後は、見学者の昇降は外階段でおこなう。
- ・現在の階段は踏み場が狭く昇降しにくいいため、新たな昇降用階段を現在の階段の上に設置する。耐震設計上問題ないこと、避難経路として使用すること、外壁に触れないようにすることを前提とする。
  - ・手すり部分は、外壁同様そのままの形で保存する。
  - ・階段床スラブ（踊り場）は、雨漏りがあるためモルタル撤去し、コンクリートのヒビ割れ補修をする。
  - ・ステップ部分は、爆撃による破損ではないが、現状のまま保存する。

内階段・・・見学者の昇降は行なわない。爆弾痕は外壁、全体は内壁の仕様に準じる。

縦 樋・・・周囲にある縦樋は、劣化が激しいため、すべてステンレス製の新しい樋に取替える。排水のため現在より太い樋に変更する。外観が変わらないよう古色仕上げの塗装をする。  
状態の良いものは一部保存展示する。

窓 枠・・・窓がゆがんで開閉ができない箇所、窓から漏水している箇所が多数あるため修復する。

- ・サッシが変わると外観に大きく影響するため、保存を優先する。
- ・ゆがみ、漏水等の対応方法は今後の検討課題であるが、必要な場合は、内側に木製建具を追加する等、内装が変わることも可能とする。

外 構・・・排水設備のメンテナンス、給水塔等の保存処理を行う。

(3) 活用方針・・・公開日数を増やすためには、運営管理の委託等を検討する。  
施設の貸し出し等を行わず、博物館主催もしくは共催の展示、イベントのみとする。

この方針は、現時点で考えられる最善の内容ではありますが、今後の基本設計、実施設計を進める中で、内容や金額等の変更が起きる場合があります。